

特67

498

館書圖京東

和書門

音樂類

函

二六架

三號

六三冊

新世流
琴
友
會

徳

早
書
丸
判

朝
意
其
の

戸屋乃行某もて候
仕つて人。彼初の在京とて候
朝意其のるあるまのり在京

つた。本國年ニ其書か
細書ノ舊書録ノ事也

さへん罪か。いふはるの徳か
かへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か

さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か
さへん罪か。いふはるの徳か

〜^レ 愛を蒙りて其の國に於て

しんぞくへ舞を舞ひて申さるる

かゝる。其の如きは人々を

其の國に舞ひて其の國に

其の國に舞ひて其の國に

其の國に舞ひて其の國に

其の國に舞ひて其の國に

其の國に舞ひて其の國に

其の國に舞ひて其の國に

其の國に舞ひて其の國に

其の國に舞ひて其の國に

其の國に舞ひて其の國に

行方^リの事^ニ心^ヲ懸^ケりて其^ノ事^ヲ成^スる

其^ノ方^ヲく其^ノ方^ヲに^シて其^ノ事^ヲ成^スる

其^ノ方^ヲく其^ノ方^ヲに^シて其^ノ事^ヲ成^スる

其^ノ方^ヲく其^ノ方^ヲに^シて其^ノ事^ヲ成^スる

其^ノ方^ヲく其^ノ方^ヲに^シて其^ノ事^ヲ成^スる

其^ノ方^ヲく其^ノ方^ヲに^シて其^ノ事^ヲ成^スる

其^ノ方^ヲく其^ノ方^ヲに^シて其^ノ事^ヲ成^スる

其^ノ方^ヲく其^ノ方^ヲに^シて其^ノ事^ヲ成^スる

其^ノ方^ヲく其^ノ方^ヲに^シて其^ノ事^ヲ成^スる

其^ノ方^ヲく其^ノ方^ヲに^シて其^ノ事^ヲ成^スる

其^ノ方^ヲく其^ノ方^ヲに^シて其^ノ事^ヲ成^スる

其^ノ方^ヲく其^ノ方^ヲに^シて其^ノ事^ヲ成^スる

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

部乃住世ヲ羨慕スル人固ヨ

ハ世ヲ羨慕スル人固ヨ

行成難キ事也

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

中  
中



三十一  
二  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一

三十  
二十九  
二十八  
二十七  
二十六  
二十五  
二十四  
二十三  
二十二  
二十一  
二十  
十九  
十八  
十七  
十六  
十五  
十四  
十三  
十二  
十一  
十  
九  
八  
七  
六  
五  
四  
三  
二  
一

七 七



松の葉を採りて

煎じて飲めば

松の葉を採りて

煎じて飲めば

松の葉を採りて

煎じて飲めば

松の葉を採りて

煎じて飲めば

松の葉を採りて

煎じて飲めば

松の葉を採りて

煎じて飲めば

帖

思ふにあらばして露の玉

たれにほねる者思ふよのる

よびてしる那まうろ高

くちまきて風北の先くま

くちまきて風北の先くま

己固の思ひ藤村の藤村

己の思ひ東方の思ひ

己の思ひ東方の思ひ

己の思ひ東方の思ひ

己の思ひ東方の思ひ

己の思ひ東方の思ひ

己の思ひ東方の思ひ





まはら〜  
下凡  
美作

まはら言中〜  
下凡  
申言

こよる人妻まらつて後ら洗

年乃言〜  
下凡  
里百

か〜  
下凡  
か

着〜  
下凡  
備りな

う〜  
下凡  
御よ

果〜  
下凡  
花

心〜  
下凡  
格野乃

し〜  
下凡  
乃

心〜  
下凡  
若

麻〜  
下凡  
く

成なりになりてなりはなり福ふくにに 福

年としのとしをを 福

ああのの 福

成なりるる 福

千ち度ど 福

二に 福

棒ぼう 福

かか 福

願ねが 福

力ちから 福

びび 福

いい 福









靈心所より成仏の道ありて  
 成よりなり。是より思ふはありて  
 まうも一聽乃色れうもびく  
 くる法乃花ころり。あつた  
 福心ありてかまきり

右之本者觀世太夫草句真本令版行畢

正徳六丙申歲丙午

示來在萬數十年、口五霜ヲ経ルニ從ヒ改正増補ヲ加ヘ  
 シモ印刷ニ附テサレハ之ヲ世ニ公ニスル能ハサルヲ悲ニ今版  
 宮内省 御用達觀世清孝ノ校合ヲ以テ茲ニ之ヲ上梓スト云

定價貳錢

明徳十五年九月二十日 出版御用  
 刊 年正月 刺成發兌

京都府平民

出版人

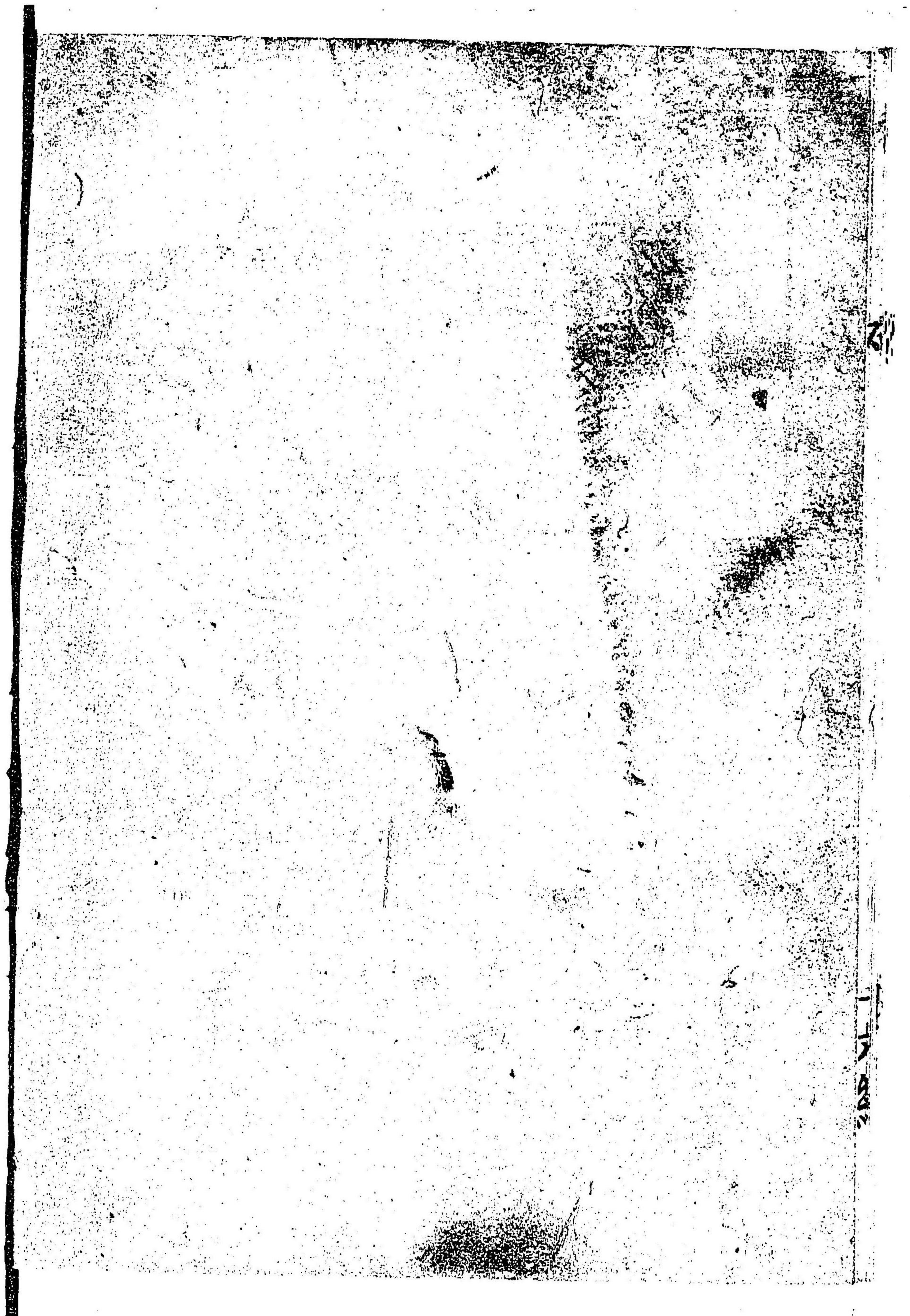
繪

常

加



上京東三手細三本橋寺町  
 口子屋町三十三番地



和書門  
音梁類  
函  
二六架  
三號  
六三冊

特67

498

|     |     |   |     |    |     |
|-----|-----|---|-----|----|-----|
| 和書門 | 音梁類 | 函 | 二六架 | 三號 | 六三冊 |
|-----|-----|---|-----|----|-----|

東京圖書館

074975-000-6

特67-498

きぬた

桧 常介

M15

CEL-0775

